

2014年東京都高等学校駅伝大会 結果報告

総合成績

参加校 133校

順位 69位 (①79位→②70位→③75位→④62位→⑤58位→⑥59位→⑦69位)

タイム 2:32'17

1区 10000m 青木 孝輔 (高2) 区間タイム35'49 区間順位 79位



1区を走った高2の青木です。まず最初に、朝早くからサポートをしてくれた人達や応援してくれた方々、本当にありがとうございました。今回初めてロードの10kmを走ったわけですが感想としては、予想していたものよりもずっと辛かった、これに尽きます。序盤から前には付いていかないで自分のペースでいこうとしたものの、中盤ですでにバテてしまったのはやはり自分の実力不足以外に理由はありません。駅伝当日は今年一番と言ってもいいほど調子がよく、気持ちも落ち着いていたので、ただただ実力のなさを痛感しています。

しかし、駅伝の時にいつも思うのは応援の影響力の大きさです。もう挫けてしまいそうなとき、前を追うのをやめそうになるときに応援の声を聞くと踏ん張れて、チームで戦ってるということを実感することができました。応援の力も借りて全ての力を出しきって走ることができたので、走り終わったときの達成感は今までに感じたことのないようなものでした。悔しさよりも充実感の方が上回っているというのが本音です。それでも決してこの結果に満足しているというわけではないし、これからもっともっと強くなっていかなくてはいけないので、駅伝を単体で終わらせずに個人、またチームとしても先に進んでいきたいと強く思いました。

2区 3000m 真田 明日人 (高1) 区間タイム 10'08 区間順位 46位

2区を走った真田です。

今年の駅伝は、レギュラー争いが無かったためかピリピリしたものがなく、チームとしてのモチベーションが低いまま練習をこなしてきてしまいました。中間が終わり、本当にあつという間に当日を迎えてしまったと思っています。

自分の走った2区は去年の中学駅伝と同じ3000mでした。レースの展開をイメージし易く、比較的走りやすい区間だったと感じています。序盤の区間で勢いに乗りたいと聞いていたので、できるだけ失敗しないよう落ち着いた走りを心がけました。中盤タレて来た時、みんなの声援が力をくれ、ラストの1000mで順位を上げるこ



とができました。結果9つ順位を上げて、まずまずのタイムで襷を繋げました。応援の力はやっぱり凄いと思います。本当に頑張る気になれます。

結果は目標には届かず、悔いの残る順位になってしまいました。去年駅伝で泣いた自分が見たら何と言うのでしょうか。来年は自分もチームも、もっと必死になれる様にしたいと考えています。応援しに遠くまで駆けつけてくれた皆様、ありがとうございました。

3区 8107.5m 高橋 優太 (高1)

区間タイム 29'34

区間順位 75位



駅伝で3区を走った高1の高橋優太です。まず位置づけとして、長距離をやっている一番重要な大会といえるのが先日の駅伝です。この重要な大会で僕は3区という8 kmの区間を任せてもらいました。重要な大会を前に体調管理を万全に行っていたはずでした。しかし、1週間前あたりから風邪をこじらせてしまいました。このせいであまりいい結果が出せなかったとはいいたくないです。体調管理も実力のうちだと思うからです。個人的な感想としては、陸上は難しいスポーツということを実感しました。

また、改めてこの駅伝という競技はチームスポーツということも実感しました。自分があまりいい結果をだせなくても後の人が順位を上げてくれたり、また逆に下がってしまったりと最後の人がゴールするまで何が起こるか分かりません。もし1人が棄権したら…とかいろいろ考えてみると僕は今回一緒にチームのメンバーに感謝の気持ちがこみあげてきます。4年間陸上をやってきましたが、この大会で大事なことを再確認できたり有意義な大会になりました。最後に応援していただいた皆様本当にありがとうございました。

4区 8087.5m 佐藤 映輔 (高1)

区間タイム 28'22

区間順位 32位

4区を走った高校一年の佐藤です。僕が陸上を始めたのは高校からで桐朋高校に入学するまでは陸上という競技とは全く縁のない生



活を送ってきたわけで、正直に言うとそんな僕がまさか8kmもの長い距離を任されるとは思ってはおらず、8kmを走り終わり、感想を書いている今様々な思いが込み上げきます。

僕が桐朋高校陸上部に入って一番最初に経験したのは膝の怪我でした。陸上部に入っても膝の怪我のため最初の1ヶ月弱は殆ど走ることができず、皆が走っている姿を見ることしかできず悔しい思いをしました。その後の6月下旬頃に怪我也軽くなりその頃からやっと練習に参加出来るようになりました。しかしやはり僕と皆の差は歴然としていて、最初の頃は皆の速さについて行くのも本当に大変でした。けれどもなんとかついていこうと必死に練習に参加し、大会を経験する中で着実に努力が結果に結びついているのだと確信を持つことができました。そこから11月3日までは一瞬でした。駅伝では前半は良いペースを維持できていましたが、後半耐えられず失速し目標としていたタイム、順位に全く及ばず、後悔の残るレースとなってしまいました。なぜ及ばなかったのか、これは調子の良さ悪しなど全く関係なく、まず第一に一向に改善されない拙いフォーム、第二に練習量の不足、第三に気持ちの弱さ、つまりは「強さ」の無さでは無いのかと思っています。

これからの冬練習では駅伝で得られた経験を生かすとともに十分な練習を積み自分の目標である綺麗なフォームと「強さ」を手に入れられたらと思っています。最後になります桐朋陸上競技部の皆と保護者、顧問の先生方、時間がないなか来てくださった先輩方の応援は力になりました。本当にありがとうございました。

5区 3000m 市川 尚樹 (高2)

区間タイム 10'14

区間順位 39位



5区を走った中長距離キャプテンの市川尚樹です。今回のチームは昨年よりも人数が少なく、正直出れるかどうか怪しかったのですが、無事に7人全員で襷を繋ぐことができよかったです。チームの目標を達成することはできませんでしたが、また来年の代にこの記録を大きく超えてもらいたいです。

最後に、わざわざ荒川河川敷まで来てくださった保護者の方々、応援してくれたOBや部員達、そして指導してくれた先生方、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

6区 5000m 津島 孝輔 (高1)

区間タイム 17'54

区間順位 51位



今回の高校都駅伝で六区の5000mを走らせてもらった津島です。今回の駅伝では補欠が一人もなく、怪我や病気に気をつけながら全力で練習をすることになりました。一人でも欠けたら駅伝に出れなくなってしまうので皆緊張感のある意味ある練習をしていました。でもずっと前からこの七人のメンバーで走ると決まっていたのでお互いの連携感などは強かったと思います。個人のタイムとしては自己ベストに及ばず順位を一つ下げてしまい、総合的にも去年の先輩たちの順位からかなり下げてしまいました。来年も頑張って練習して駅伝メンバーになって、駅伝を走って去年の先輩たちのタイムに出来るだけ近づきたいです。

最後に駅伝当日まで中長ブロックをサポートしてくださった部員と先生方、本当にありがとうございました。来年も頑張りたいです

7区 5000m 飯村 聡太 (高2)

区間タイム 20'16

区間順位 107位



7区を走りました飯村です。駅伝ではアンカーとして襷を受けたものの大きく順位を下げてしまい、とてもふがいない結果に終わってしまいすごく悔しかったです。1区から6区までの人達がとてもがんばってくれただけに、そこまで走ってくれた駅伝メンバーにはとても申し訳なかったし、それと同時に一人の走りが大きく影響する駅伝の難しさを感じました。そして最近こういう結果が続いているので、なんとか引退する半年後までに修正していい走りを見せられればと思っています。応援してくれた皆さんありがとうございました。桐朋の応援はどこよりも人一倍大きくて力をもらえて、桐朋の陸上部はいいな！って改めて思えました。これからも頑張りたいと思いますので応援よろしくをお願いします。